

(様式4)

令和3年3月25日

第3回 大阪市立西高等学校 学校協議会 実施報告書

大阪市立西高等学校  
校長 川口 伊佐夫

日時	令和3年3月8日(月) ～令和3年3月25日(木)	緊急事態宣言の区域変更により3月1日(月)に大阪府は対象区域からはずれたものの、リバウンド防止への配慮要請はあるため、集合形式での協議会は避けるべきと判断し、3月8日(月)の職員会議での「運営に関する計画・自己評価(最終反省)」の承認ののち、同日、文書を発送し書面決議による協議会として実施した。期間が短く3月25日(木)時点で全委員の意見集約が完了したわけではないが、設定された期限があるため現時点で報告する。	
場所	文書送付による意見集約		
意見集約	委員	梶野 明美(会長) 渡邊 和俊(副会長) SHULTZ John Andrew(委員) 與倉 裕子(委員) 坂本 由美子(委員)	
	校 園	全教職員(令和3年3月8日(月)の職員会議で、全体から意見集約)	
議 題	(1) 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(最終反省) (2) 学校評価		
協議要旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	学校の自己評価を妥当として承認	<ul style="list-style-type: none"><li>・新学科での高倍率が継続的な努力への社会的評価である。</li><li>・計4学科の生徒が混在する複雑な校務運営の中でも、全生徒が最良の学校生活を過ごせた。</li><li>・英語教育と情報教育を融合させた教育情報科の展開は広く世界に通用する人材の礎となるもので高く評価される。</li><li>・臨時休業があったが年間での学習内容は維持され、行事や部活動も感染防止に配慮した形で実施された。</li><li>・新型コロナウイルスの影響もある中、教員の懇切な指導と家庭の充実した協力関係によって生徒の自律した学習意欲が維持されてきた点を高く評価する。</li><li>・情報発信や課題の提供、十分な感染防止の取組みによって、休業中も登校再開後も、安心できた。</li></ul>
(2)	自己評価は妥当 今後の運営に対しては、来年度の100周年・統合移転準備・新学科の充実に関して激励 学校運営への参画は大いに進んだ	総括への評価、年度目標ごとの評価については、(1)に記載の通り。 創立100周年を迎える中で、大阪の将来を担う若者の育成のため学科改変と統合移転の一大事業を推進する。これまでの3学科の伝統を活かしつつ新時代に対応するカリキュラムの教育情報科を基軸として、大阪の発展に大きく貢献を。 来年度は重要な1年、生徒にとっても思い出深い1年に。学校協議会を通して、保護者・地域等の学校運営への参画が大いに進んだ。	
協議資料	運営に関する計画・自己評価(最終反省)＋校長経営戦略支援予算実施報告書 書面表決書(学校関係者評価用紙)		
備 考	傍聴者 [0名]		